

事務事業評価シート

H26(標準事業)

①基本事項	事業コード	事業名		部名	建設部
	08210-1	天神26号線整備事業		室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造		財	会計 一般会計
	基本施策	09:道路網の整備		務	款 土木費
	施策の方向	03:道路の安全性と防災機能の向上		科	項 道路橋梁費
戦略プロジェクト			目	目 道路新設改良費	

②目的・概要	対象	市民
	目的	天神26号線は、避難地指定であるみなみ保育園へ避難路として重要な生活道路である。しかし、現況道路は狭隘で一部クランクになって視距も悪いため、地域住民等の円滑な通行に支障をきたしている。このことから、現道拡幅を行い、災害発生時における地域住民の避難経路としての機能を確保することにより防災安全の向上を図りたい。 ・計画延長 L=150m ・幅員 4m(3種5級)

			24年度	25年度	26年度	
③指標	①活動	名称	道路整備の内容	計画値		道路工事
		補足	整備完了後は、生活の利便性、防災機能の強化が図れる。	実績値		道路工事
				単位		
	②	名称		計画値		
		補足		実績値		
				単位		
①成果	名称	整備進捗率	計画値		100	
	補足	実施済み事業費/総事業費	実績値		100	
			単位		%	

年度計画				年度実績				
				道路工事 延長=150m				
④事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,480	
		事業費		21,400	21,706	一般職員人件費 ②	1,480	平均給与額×③
		国庫支出金		11,770	11,938	所要人員 ③	0.20	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		9,630	9,768			
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額		7,537			
			総人件費		①	1,480		
	総コスト		⑥	23,186				

⑤事業の評価	【事業の成果】	狭あいな道路を整備したことにより、避難路としての機能が確保された。また、生活道路として地域住民の安全が確保され、防災安全の向上が図れた。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	防災の観点からも、今回の整備区間から県道(2工区)までの道路整備が行えなかった。今後、地域との合意形成を図り進めていけるよう対応していく。
	【改善の方向性】	用地交渉に難航し繰越すことのないよう、単年度事業とした整備を行っていくよう改善していく。 (例) 1年目...用地測量 2年目...用地買収 3年目...工事を実施するといった改善が必要になってくる。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳
--------------	---------	-----------------------